

令和元年度事業報告

1. 事業概要

新元号となった昨年度は、ラグビーワールドカップの日本開催と明るい話題もありましたが、全国的には台風による災害復旧や新型コロナウイルス感染症などの対策が急がれた年となりました。

十勝、帯広においては、大きな自然災害もなく、朝の連続テレビ小説の放映など全国的な知名度の上昇とともに基幹産業である農業のJA取扱高が過去最大を記録するなど明るい話題がありました。

国における高齢者の雇用を取り巻く情勢としては、今年度の高齢社会白書において年齢階級別就業率は10年前を比較すると60歳から74歳まで概ね約10ポイント伸びたほか、帯広公共職業安定所がまとめた令和元年「高年齢者の雇用状況」集計結果によると、従業員31人以上の企業で65歳までの雇用確保措置のある企業が99%、66歳以上働ける制度がある企業が約32%、70歳以上働ける制度のある企業は約30%という状況にあります。

当センターにおいては、高齢者の再雇用、定年延長等が進むなかにあつて、受注件数、入会者が減少し、会員の高齢化等による退会に歯止めが利かない状況となっています。

これらの状況を踏まえ、就業先の拡大に向け関係機関と連携を図りながら帯広市に対し財政支援と事業発注の確保に向けた要請を行うとともに、経費節減に努めました。

安全・適正就業の取り組みとして、各種講習会、職群班会議、安全就業だより、生き生きを通じた啓発並びに会員自らの意識向上により大幅に事故が減少しました。

課題である会員の入会促進、就業機会の拡大に向けては、北海道シルバー人材センター連合会の協力による事業をはじめ、一般市民向けパソコン教室、女性を対象にしたアロマ教室の開催、地元マスメディア、市の広報紙、町内会回覧、関係団体のイベント参加及びシルバーフェアの開催を通じて普及啓発事業を行いました。

また、動物園開園前の園内清掃、全市一斉交通安全旗振りなどボランティア活動を通じ、市民の認知度向上に向けた取り組みも行いました。

以下、令和元年度の事業実績は次のとおりです。

	令和元年度	平成 30 年度	増△減
正会員数	566 人	600 人	△ 34 人
受注件数	4,927 件	5,223 件	△ 296 件
契約金額	182,740,422 円	187,602,133 円	△4,861,711 円

2. 事業実施状況

(1) 会員の増強

新入会員説明会を毎月開催し、退職時期に重なる3月から5月は毎週開催したほか、社協フェスタ&わいわいタウン、とかちプラザまつり、第50回みんなの消費生活展においてパネルによるシルバー事業の紹介とともに入場した高年齢者等に会員募集のチラシ入りのポケットティッシュの配布と仕事の受注依頼を行いました。

市内の本庁、大正・川西支所、コミセン、福祉センターなど公共施設に新入会員説明会案内チラシを設置し、帯広市の協力により町内会の班回覧文書を配布したほか、ハローワークやアクティブシニアサポートセンター帯広との連携とともに地元FM局に月1回出演するなどメディアも活用しPRに努めました。

また、加盟する北海道シルバー人材センター連合会との連携を図り、8月29日にはセミナーと新入会員説明会をとかちプラザで開催しました。

また、当センターのパソコン同好会の協力を得て市民向けパソコン教室を開催し、参加者1名が新たに入会をしました。

(2) 就業率の向上

就業率を上げるために、生き生き通信に就業会員募集の記事とともに募集のチラシを配布し、会員に就業紹介を行いました。

公共関係の長期就業については、広く公募するとともに、特定の会員が継続的な就業とならないよう努めるとともに、適正かつ公平な就業の推進のためにグループ就業やローテーション就業を導入するなどワークシェアリングによる就業機会の拡大に配慮しました。

(3) 受注の拡大

市の広報紙や関係団体でのイベントとともに地元メディアや広告を活用しながらあらゆる機会を通じて周知に努めました。

また、北海道シルバー人材センター連合会との委任契約による一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）に取り組み、事業所との連絡調整及び派遣就業を希望する会員へ就業機会の提供を行いました。

独自事業の水泳教室、スケート教室、スキー教室については、講師の受講者への細やかな指導により、複数年受講するなど地域に根付いた取り組みとして好評ですが、スキー教室については雪不足により教室始まって以来の中止となりました。

(4) 安全就業対策

安全就業推進計画に基づき、「事故ゼロ」を目標に安全・適正就業委員会を中心に安全対策の推進に取り組み、傷害事故が2件と減少しました。

ア 安全就業講習会等の開催

11月の安全就業講習会は、帯広警察署職員から「高齢者の交通安全」について受講しました。

職群班講習会において、安全就業、ペナルティ制度の説明を通して、周知、徹底を図りました。

イ 安全パトロールの実施

7月に安全・適正就業委員会委員が、就業中の帯広墓地の剪定と緑ヶ丘墓地の草刈現場を巡回し、就業会員の安全保護具等の着用状況等について点検を行い、事故の未然防止を呼びかけました。

巡回終了後に、気が付いた点などについて、改善策の協議を行いました。

ウ 安全標語の募集

安全標語の募集は、10名から37作品の応募があり、安全・適正就業委員会において選考しました。

11月に表彰を行うとともに、応募作品は、訪れる市民や会員の目に触れるよう玄関・ロビーに掲示しました。

優秀作品 「無理しない 急ぐ心に ひと呼吸」

佳作 「目配り・気配り・心配り これが無事故の三要素」

佳作 「事故ゼロへ 点検手順 再確認」

エ 安全就業推進強化月間の取り組み

7月の全国統一「安全・適正就業強化月間」には、交通安全旗の掲揚、

横断幕・幟の掲示により、安全・安心の意識の高揚を図りました。

オ 機関紙による啓発

毎月発行の「生き生き」や年４回発行の「安全就業だより」の各号で屋外作業時の事故防止、冬期間特有の事故及び交通事故防止の留意点などの記事を掲載しました。

カ 事故の発生状況

傷害事故 ２件

発生日	事 故 の 内 容
９・９	刈払機で作業中、左腕肘付近を蜂に刺される。
３・１６	チラシ配布時、凍結中の歩道で転倒、上腕部を打った。

(５) 組織の充実

地域班の地区長・班長の協力をいただく中で、各種行事やボランティア活動は成果を収めることができました。

地区懇談会等は、一部地区で新型コロナウイルスの影響により自粛するなど開催出来なかったところもありましたが、おおむね会員相互の交流と親睦が図られ、シルバー事業の活発化につながりました。

地域班における役員のなり手不足と会員間の横の連携について課題があり、「生き生き」の中で班長の仕事、班会議等の開催について広く周知を図り理解を得るよう努めました。

職群班組織については、剪定・草刈・草取りなど連携、協力がとられ円滑な就業に繋がったものの新たに就業する会員も少なく後継者の育成が課題となっています。

(６) 財政基盤の確立

国並びに帯広市の補助金を活用し、就業促進等の取り組みを進めるとともに、補助金の増額、受注の拡大等それぞれ要請活動を行ったほか、適正な財政運営に努めました。

(７) 周知啓発活動の促進

ア ホームページ

随時最新情報の更新を行い、会員向けの講習会の案内や独自事業の募集広告などを掲載し、市民の利便性の拡大に努めました。

イ ボランティア活動

独自事業の交通安全旗振りは、天候にも恵まれ多くの会員の参加により実施しました。一般市民の高齢者向けのパソコン教室では、年賀状作

成をテーマに講習会を実施しました。

春の動物園開園前の園内清掃、全市一斉交通死亡事故抑制街頭啓発に引き続き参加しました。

そのほか、「すずらの会」が中心となって、前年度に裁断加工した拭き布を市内保育園に寄贈したほか収穫祭の手伝いも行いました。

ウ シルバーフェア

10月19日（土）に開催の第15回シルバーフェアは、「帯広市シルバーいきいきプラザ」を会場に、帯広市による血管年齢測定、握力測定や十勝マジック愛好会の協力をいただくとともに、会員の作品展と各種イベント（ロビーコンサート、詩舞、太極拳演武、包丁研ぎ、軽食コーナーなど）を実施し、あいにくの降雨と気温が低い中、81名の来場者がありました。

当日は、地元FM局の電話中継が行なわれるなど、今後もシルバー事業の市民周知を図るための取り組みを進めていきます。

（８）各種講習会等の開催

次のとおり開催しました。

講習会名	実施日	会 場	延人員
草取り講習会	5・14	いきいきプラザ	8名
剪定技能講習会	5・17	いきいきプラザ	15名
草刈・芝刈機講習会	5・21 5・22	いきいきプラザ（座学） 中島霊園（実技）	42名
硬筆筆耕講習会 (2日間)	9・26 10・3	いきいきプラザ	64名
毛筆筆耕講習会 (4日間)	10・24 10・31 11・7 11・14		
安全就業講習会	11・11	いきいきプラザ	20名
パソコン教室	11・18 ～22	いきいきプラザ	7名
もっと知ろうシルバー 研修会	11・27	いきいきプラザ	33名

(9) 会報の発行

毎月発行のおびひろシルバー便り「生き生き」と広報紙「おびひろシルバー」の夏季号・新年号を発行しました。

「生き生き」は、センターからのお知らせ、特殊詐欺の被害防止、確定申告などの最新情報を掲載しました。

「おびひろシルバー」は、センター事業や会員の活動状況など、身近な紙面づくりに努めました。

(10) 福利厚生事業の推進

会員親睦事業として、理事長杯パークゴルフ大会を十勝川親水公園P G場で開催し、37名が参加しました。

新年会は、初めて新嵐山荘で開催しました。

(11) 「すずらんの会」の活動状況

シルバーフェアの軽食コーナーを担当したほか、サロン（お茶会）開催の前段に軽運動「ふまねっと」を参加者全員で行いました。

予定していた拭き布裁断やランチ会は、新型コロナウイルスの影響から開催を自粛しました。

3. 会 議 の 開 催 状 況

各種会議等の開催状況は、次のとおりです。

会 議 名		開 催 日	備 考
定 時 総 会		元・ 5・ 24	報告事項 4 件・ 審議事項 3 件
理 事 会		31・ 4・ 16	第 1 回 報告事項 3 件・ 審議事項 7 件
		元・ 5・ 24	臨 時 審議事項 2 件
		元・ 6・ 24	第 2 回 報告事項 3 件・ 審議事項 2 件・ その他 4 件
		元・ 8・ 8	第 3 回 報告事項 3 件・ その他 5 件
		元・ 9・ 3	第 4 回 報告事項 4 件・ 審議事項 1 件・ その他 1 件
		元・ 12・ 5	第 5 回 報告事項 4 件・ 審議事項 1 件・ その他 1 件
		2・ 2・ 6	第 6 回 報告事項 4 件・ 審議事項 1 件・ その他 3 件
		2・ 3・ 17	第 7 回 報告事項 5 件・ 審議事項 2 件・ その他 2 件
理 事 会 専 門 部 会	総 務 部 会	元・ 7・ 22	第 1 回 事務分掌、福利厚生、今後の事業等
		元・ 8・ 28	第 2 回 配分金、福利厚生、今後の事業等
		元・ 11・ 25	第 3 回 配分金、福利厚生事業、安全就業等
		2・ 1・ 20	第 4 回 福利厚生事業、地区長・ 班長合同会議等
	業 務 部 会	元・ 7・ 29	第 1 回 事務分掌、もっと知ろうシルバー研修会等
		元・ 9・ 24	第 2 回 事業実績、研修会、新規事業開拓等
		元・ 10・ 29	第 3 回 講習会、長期就業、新規開拓事業等
		2・ 1・ 28	第 4 回 事業実績、適正就業、長期就業等
		2・ 2・ 25	第 5 回 新年度事業取り組みについて
	啓 発 部 会	元・ 7・ 30	第 1 回 事務分掌、啓発活動、シルバーフェア等
		元・ 9・ 17	第 2 回 関係団体イベント、シルバーフェア等
		元・ 11・ 6	第 3 回 ボランティア活動、パソコン教室等
		2・ 2・ 17	第 4 回 新年度事業取り組みについて
安全・ 適正就業委員会		元・ 7・ 26	第 1 回 安全・ 適正就業推進計画、安全標語
		元・ 8・ 29	第 2 回 安全標語、安全就業講習会
長期就業調整委員会		元・ 10・ 29	第 1 回 就業者募集について
		元・ 12・ 20	第 2 回 就業者応募状況と今後の作業について
		2・ 1・ 17	第 3 回 面談について

広 報 委 員 会	元・ 5・ 28	第 98 夏季号 編集会議
	元・ 6・ 14	割付作業
	元・ 6・ 25	校正
	元・ 11・ 8	第 99 新年号 編集会議
	元・ 11・ 29	割付作業
	元・ 12・ 17	校正
女 性 委 員 会	元・ 6・ 7	第 1 回委員会 年間行事について
	元・ 7・ 26	第 2 回委員会 ボランティア活動、シルバーフェア
	元・ 8・ 30	第 3 回委員会 シルバーフェア、サロン
	元・ 11・ 21	カフェすずらん、軽運動「ふまねっと」
	元・ 12・ 2	第 4 回委員会 シルバーフェア、ランチ会等
	2・ 2・ 7	アロマ教室&香り玉作り体験会
役員候補者選考委員会	31・ 4・ 5	理事・監事候補者の選考について
地 区 長 会 議	31・ 4・ 8	平成 31 年度事業計画（案）について 動物園園内清掃ボランティアについて 地域班組織について
地 区 長 ・ 班 長 会 議	2・ 2・ 14	令和元年度事業実績について 専門部会・委員会報告について 地域班の活動状況について
監 査 受 審	31・ 4・ 15	平成 30 年度事業報告・収支決算
	元・ 8・ 5	令和元年度第 1・四半期までの業務状況等
	元・ 11・ 18	令和元年度第 2・四半期までの業務状況等
	2・ 2・ 3	令和元年度第 3・四半期までの業務状況等

4. 事業の実績等

(1) 正会員の状況

ア 会員の異動

(単位：人)

区 分	平成30年度末 会 員 数	令 和 元 年 度 中		令和元年度末 会 員 数
		入会会員数	退会会員数	
男	431	27	53	405
女	169	16	24	161
計	600	43	77	566

イ 年齢別会員数

(令和元年度末)

(単位：人)

区 分	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上
男	0	5	57	134	119	90
女	0	11	24	71	38	17
計	0	16	81	205	157	107

ウ 職群別会員数

(令和元年度末)

(単位：人)

区 分	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他
男	63	40	34	87	14	165	2	0
女	17	4	24	2	6	62	46	0
計	80	44	58	89	20	227	48	0

(2) 事業実績

ア 発注者別事業実績

区 分	受注件数(件)	就業延人員(人)	契 約 金 額	
			金 額(円)	左の割合%
公 共 事 業	116	5,496	38,292,604	21.0
一 般 企 業 等	1,115	20,994	95,688,578	52.4
個 人 ・ 家 庭	3,692	9,161	46,565,240	25.4
独 自 事 業	4	543	2,194,000	1.2
合 計	4,927	36,194	182,740,422	100.0

イ 職群別事業実績

区 分	受注件数(件)	就業延人員(人)	契 約 金 額	
			金 額(円)	左の割合%
技 術 群	28	609	2,531,438	1.4
技 能 群	1,204	2,665	20,980,513	11.5
事 務 整 理 群	394	1,150	4,956,020	2.7
管 理 群	23	5,744	38,461,989	21.0
折 衝 外 交 群	8	1,224	5,264,302	2.9
一 般 作 業 群	3,085	19,900	97,165,265	53.2
サ ー ビ ス 群	185	4,902	13,380,895	7.3
そ の 他	0	0	0	0.0
合 計	4,927	36,194	182,740,422	100.0

ウ 月別事業実績

月	会 員 数			受 託 件 数	就 業 実人員	就業延 実人員	就業延 日人員	契 約 金 額			
	男	女	計					配分金 (交通費含)	材料費等	事務費	計
	(人)	(人)	(人)					(円)	(円)	(円)	(円)
4	420	167	587	321	326	788	2,968	12,177,114	84,046	919,445	13,180,605
5	413	161	574	591	312	1,119	3,175	13,294,270	823,321	953,173	15,070,764
6	404	158	562	925	331	1,882	4,428	19,706,037	2,135,649	2,106,327	23,948,013
7	404	159	563	908	354	1,950	4,637	21,120,002	2,613,441	2,437,776	26,171,219
8	400	159	559	700	313	1,469	3,736	16,606,164	1,467,970	1,855,181	19,929,315
9	399	159	558	779	320	1,706	4,155	18,817,149	1,876,837	1,713,525	22,407,511
10	402	160	562	529	293	1,002	3,282	14,533,105	697,397	1,281,146	16,511,648
11	403	158	561	296	236	478	2,135	8,803,900	78,370	651,494	9,533,764
12	402	158	560	245	196	419	2,035	6,431,619	29,110	777,880	7,238,609
1	403	161	564	214	193	370	1,725	5,764,776	23,270	1,695,582	7,483,628
2	405	161	566	229	211	388	1,901	5,822,182	44,050	2,558,633	8,424,865
3	405	161	566	247	258	493	2,017	7,154,421	2,700,049	2,986,011	12,840,481
計	—	—	—	5,984	3,343	12,064	36,194	150,230,739	12,573,510	19,936,173	182,740,422

(注) 受託件数は毎月の取扱件数を合計したものである。

エ 独自事業の実績等

事業名	実施期間	会場等	参加児童数	事業収入額(円)
水 泳 教 室	自 令和元年5月15日 至 令和元年6月19日 (11日間)	帯広の森市民プール (スインピア)	小学1年生 ～小学6年生 55名	540,000
スケート教室	自 令和元年9月 17日 至 令和元年10月25日 (12日間)	帯広の森 第2アイスアリーナ	小学1年生 ～小学3年生 76名	762,000
	自 令和元年11月5日 至 令和元年12月13日 (12日間)	同上	同上 90名	892,000
ス キ ー ・ スノーボード 教 室	中 止			
合 計				2,194,000

才 年度別事業実績

年 度	会 員 数			就 業 実人員 (人)	就業率 (%)	受注件数 (件)	就業延 日人員 (人日)	契約金額 (円)
	男 (人)	女 (人)	計 (人)					
平成 2 7 年度	509	194	703	563	80.0	6,246	43,469	201,347,310
平成 2 8 年度	478	186	664	534	80.4	5,965	41,743	194,442,731
平成 2 9 年度	460	178	638	508	79.6	5,810	40,048	197,512,778
平成 3 0 年度	431	169	600	483	80.5	5,223	37,844	187,602,133
令 和 元 年 度	405	161	566	450	79.5	4,927	36,194	182,740,422

力 年度別事業実績（派遣）

年 度	受注件数（件）	就業延日人員（人日）	契約金額（円）
平成 2 7 年度	23	2,049	14,350,562
平成 2 8 年度	34	2,084	14,265,482
平成 2 9 年度	36	2,124	12,958,271
平成 3 0 年度	29	1,987	11,145,061
令 和 元 年 度	43	1,941	11,534,696

才 年度別事業実績

年 度	会 員 数			就 業 実人員 (人)	就業率 (%)	受注件数 (件)	就業延 日人員 (人日)	契約金額 (円)
	男 (人)	女 (人)	計 (人)					
平成 2 7 年度	509	194	703	563	80.0	6,246	43,469	201,347,310
平成 2 8 年度	478	186	664	534	80.4	5,965	41,743	194,442,731
平成 2 9 年度	460	178	638	508	79.6	5,810	40,048	197,512,778
平成 3 0 年度	431	169	600	483	80.5	5,223	37,844	187,602,133
令 和 元 年 度	405	161	566	450	79.5	4,927	36,194	182,740,422

力 年度別事業実績（派遣）

年 度	受注件数（件）	就業延日人員（人日）	契約金額（円）
平成 2 7 年度	23	2,049	14,350,562
平成 2 8 年度	34	2,084	14,265,482
平成 2 9 年度	36	2,124	12,958,271
平成 3 0 年度	29	1,987	11,145,061
令 和 元 年 度	43	1,941	11,534,696